



七松小学校 学校だより

令和3年度
6月号
尼崎市立七松小学校
校長 江上佳宏



☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

七松小学校の自然 ～美しい学校をめざして～



今年は、例年より約3週間早く梅雨入りしました。

3月のサクラの開花からも、季節の移り変わりが、少し早い気がします。

さて、学校運営をするには、教育の維持・向上を図る教育管理、全ての子ども
命と安全・安心を守る児童管理、教育環境だけでなく地域スポーツや文化活動の振
興・避難所・投票所など地域の中核施設としての施設設備管理等様々な側面から見
守らなければなりません。

私が昨年4月より、週1回必ず、行っているのが、学校の施設周辺点検及び清掃
です。学校周辺は、特に橋通りの歩道やその茂みに、タバコの吸い殻、ペットボト
ル、空き缶、おにぎりやパンの袋等が捨てられています。中には、乗用車の灰皿の
吸い殻を学校周辺の溝に放棄した跡も見られます。また、フェンスの中では、吸い
殻やお菓子の袋を毎週同じ場所で拾っています。

私は、子どもたちが学ぶこの七松小学校校地内及び校地周辺は、第2の自宅と思
い、飴の包み紙一つ見逃さず、掃除をしています。

学校を定期的にまわると、ゴミばかりではなく、美しい自然とも出会います。職
員室前に、『七松小学校の自然』という掲示物のコーナーを作っています。

最近見付けた、身近な花や昆虫などを写真に撮り、掲示しています。これを始め
たきっかけは、昨年10月です。森のオアシスに咲こうとしていたヒガンバナの
茎が、それを知らない子どもたちが踏んでしまっているのです。慌てて、校務員さ
んに、プランターに植え替えてもらいました。花はめずらしい、白色のヒガンバナ
でした。4年生の国語の教科書に「ごんぎつね」という物語文がありますが、その
挿絵にヒガンバナが描かれています。本物のヒガンバナを見せたいという思いから
掲示物を作りました。

2月には、正門前に植えている「かんこうばい・寒紅梅」が満開になったり、森
のオアシス、ビオトープに「カルガモ」が飛来したり、子どもに見せたいものを写
真に収め、掲示物にしています。

春に、たくさんの方が咲き、10枚掲示していたコーナーもいっぱいになったの
で、別にクリアファイルにまとめました。合わせて38枚になっています。

子どもたちには、七松小学校
周辺での、一部の人が出した
ゴミについて、凡事徹底と関連
させて考えさせたいと思います。
また、毎日、通ったり、遊んだり
していると、生息する身近な
自然の美しさに気づかせ、豊かな
感性を育ててほしいと願います。

これから季節は初夏を迎えます。
子どもたちには、美しい自然と触
れ合ってもらいたいと願っています。

